

あおこうだより

鳥取県立青谷高等学校
令和2年3月3日
VOL. 9

課題探究成果発表会

12月13日(金)本校体育館において「課題探究成果発表会」を開催し、3年次生が一年間取り組んできた研究の成果を発表しました。本年度の課題探究では、青谷の魅力地域の方々に発信することをコンセプトに「青谷の自然 ～メダカを知ろう～」 「ポスター、カレンダー作成」 「青谷木綿の復活」 「自然酵母でパン開発」 「青谷周辺の植物を用いて草木染め」 「発見！青谷町と赤間関廻船ルート」 「青谷の魅力 和紙でPR大作戦！」 「魚食の促進」の8テーマで調査・研究を行ってきました。発表会は、課題探究の各班の学習内容を共有して地域理解を深めるとともに、お世話になった地域の方々に研究の成果を見ていただくために開催しました。3年次生全員が発表を終え、多くの生徒が達成感を感じていました。



あおやくん

質疑応答も活発だったよ♪

青谷学ポスターセッション

2月5日(水)本校教室においてポスターセッションを行いました。

このポスターセッションは、2年次生が一年間青谷地域の自然、歴史、文化、産業について、学習し、体験したことを1年次生に報告するものです。2年次生は、1年次生にわかりやすく伝えるためにポスターを作成し、発表練習をしてきました。1年次生からの質問の中には、現時点での知識等では回答できないものがありましたが、3年次の「課題探究」の学習の中で回答を考えていきます。



〔自然科学〕



〔文学歴史〕



〔ふるさと産業〕



〔農業・漁業〕



青谷上寺地遺跡の学習の中で自分たちで弥生の土器を作ったんだね♪



なりすなちゃん

3年次生のみんな～！
卒業おめでとう！
あなたにとって
『青谷高校』とは？



青谷高校で得たことは、「諦めず、努力し続ければどんな夢もかなえられること」です。私は小学生から卓球を続けていたのですが、初めての東部地区大会で「勝てるだろう」と高をくくっていましたが、勝つことはできませんでした。それからは、今までしたことのないトレーニングをし、努力したことで勝てるようになりました。

僕にとっての青谷高校は、『親身になって生徒の将来に寄り添ってくれる最高の学校』です。高校で初めて先生の御指導のもと油絵を始めました。最初は上手くいきませんでしたが苦勞して完成させたときは、達成感と共に「描きたい」という高揚感を持ちました。それをきっかけに先生方のおかげで、無事に美大に進学が決まりました。

進路のことで、相談すればどの先生も親身になって相談に乗ってくださいます。面接練習では、ほぼ全員の先生が放課後に時間を作ってください、アドバイスをしてくださるので、本番ではバクバクに緊張することなく、ほど良い緊張で臨むことができました。

私は、2年間執行部のメンバーとして、学校を盛り上げようとしてきました。ときには、上手いかずに思い悩むことも沢山ありましたが、そういう状況をどう切り抜けていくかを考えていくという点で大切な経験をさせていただいたと思っています。何かをやり遂げた時の達成感、協力することへの大切さを認識できたことで自分が大きく成長することができました。

僕は高校に入学して、中学から続けていたバトミントン部に入部し、必死に練習しました。その甲斐あって、2・3年次で県大会に出場することができました。また、3年次では部長を務めました。今まで、人をまとめる仕事はやったことがなかったので不安でしたが、友達の支えもありやり遂げることができ、責任感や自信を身に付けることができました。

私は、青谷高校に入学して良かったと思っています。それは、大切な友達に出会うことができたからです。青谷高校は2年次から系列を選択し、選択授業が多くなります。系列が同じ友達と一緒にいる時間が長く、仲が深まりました。私は、友達のおかげで3年間楽しい高校生活を送ることができました。

この3年間、部活のバスケットボールをとおして『責任感、信頼、そして練習を重ねていくことの意味』を学ぶことができました。青谷高校のバスケットボール部は部員が少なく、練習が辛いときもありました。しかし、私が3年間続けてこられたのは、チームのおかげ、顧問の先生のおかげです。とても楽しい人間関係を築くことができました。

3年次で全員履修する「課題探究」では、進路に関わる「食」について研究しました。地域をPRするという目的から地域の特産物を使って、「スコーン」作りに挑戦しました。地域の方々に試食していただき、多くの方々に「おいしい」と言っていただけました。たくさんの特色のある学校です。

青谷高校は僕にとって、とてもおびのびとでき自分の進路をゆっくりと考えることができるところでした。選択科目が豊富で自分が興味あるなと思って選択したものが将来の進路決定に役立つこともありました。進路決定までに多くの先生が優しく対応してくださり、それも僕にとっては大きな支えとなりました。

私は将来、看護師を目指していて、自分のコミュニケーション能力を高めたいと思っていました。青谷高校は地域とのつながりが深く、2年次には必ずボランティア活動をしします。ボランティアで幅広い年齢の方と関わり、話すことができます。その中でコミュニケーション能力を高めることができ、社会に貢献することへの喜びを学ぶことができました。

